

空家活用種蔵宿泊拠点施設整備事業

【応募者】 氏名：竹原 尚司 勤務先名：飛騨市役所基盤整備部都市整備課建築係 勤務先住所：岐阜県飛騨市古川町本町 2-22
 連絡先：TEL：(0577)73-0153 FAX：(0577)73-7500 Email: takehara-takashi@city.hida.gifu.jp

【応募理由】

農山村集落における住民高齢化・後継者不在は飛騨市種蔵地区のみならず日本全国の大都市圏から外れた地方農林漁村共通の問題です。

そこで、種蔵空家活用宿泊施設拠点整備事業はそこで暮らす住民とそれを支援する市民・行政等の「協働」により、新たな地域形成をうながすモデル事業と位置づけ、地域活性化のひとつの手法として計画を行いました。

【作品または活動の概要】

事業主体：岐阜県飛騨市（総合政策課 + 都市整備課）

設計者：(株)都市建築研究所

施工者：(協)H・C建設

事業制度：地域住宅交付金事業一地区改良事業

地区指定：都市計画区域外防火指定なし

所在地：岐阜県飛騨市宮川町種蔵 37-2 他

敷地面積：1,802.28 m²

建築概要：大型民家棟×1棟 木造2階建て 延べ床面積 343.57 m²

大広間、客室×4室、厨房、浴室他

板倉コテージ棟×3棟 木造2階建て

1棟当り客室×2室他

外部仕上：屋根 一ガリバリウム鋼板 軒天井一化粧タルキ表し

外壁 一漆喰仕上げ 木部 一防腐防虫ステイン塗装

犬走り一コンクリート洗い出し

【作品または活動の特色】

宮川町種蔵地区は、飛騨市のほぼ中央部に位置し集落地内には、小屋裏を養蚕に使った木造三層の古民家と家財道具等を災害から守るべく別棟で建築された板倉や練り石積みが形成された棚田など、魅力ある農村風景が山間部に展開しています。

そこで、当該地区における農村建築形態を用いた「住宅地区改良事業による空家住宅活用事業」を実施し、空家住宅の再生活用の一環として、平成18年度から平成19年度において、魅力ある地域遺産を活用した地域の活動の拠点となる「体験型宿泊施設」や付随する基盤整備を行うことにより、都市との交流人口の増加並びに飛騨市への定住促進を図りながら、宮川町種蔵地区に残る棚田や板倉と合わせた美しい農村住環境整備を目指すものであります。

前記の農村風景が形成されている地域での建築計画は、棚田、板倉、石積み、稜線に融合した建築デザインはもとより、定住促進やまちづくりの拠点として利用価値の高い施設となるように計画がなされました。

設計上の特徴として、巣之谷地区から三階建ての古民家を移築・再生するにあたり、梁・柱・垂木・エレベーション・仕上げ材・木格子組や犬走りなどのディテールに至るまで専門家により詳細な調査が行われ、かつて養蚕業として利用されていた三階部分の空間を残しながらも二階建ての宿泊施設としてコンバージョンされています。

また、空家活用として古材利用にこだわり柱、梁、桁等の構造材の利用にとどまらず、既存床幅広板を下駄箱や洗面カウンターへ転用したのを始めとして、養蚕業で使用されていたスノコを格子組として大広間の飾り格子に利用されるなど様々なアイデアが盛り込まれています。又、電気配線には近年では非常に珍しいがいし引き配線が採用されました。

また、種蔵の住民を主体として行われた地区整備のワークショップを平成13年から実に5年間という長期間に渡り行い、そこで文化継承をしながらそこで暮らす立場の方々からの視線での多くの設計提案やまちづくりの手法に対する提案をいただいたほか、市内外から参加者を募った種蔵地区の現地調査見学会や市民参画による各種イベントが執り行われております。

種蔵地区の住民、設計者や施工者、行政が一丸となりすすめてきた本施設整備が、魅力ある農村景観保全としての空家活用建築に留まらず、種蔵地区や飛騨市のまちづくり拠点として住民の誇りとなり、次世代まで長く愛されてゆくことが本事業成果であると確信しております。



写真①：種蔵地区の風景。石積みと板倉、背景の稜線が魅力的な農村景観を生む。

写真②：種蔵地区の風景。起伏のある棚田がビューポイントとなっている。

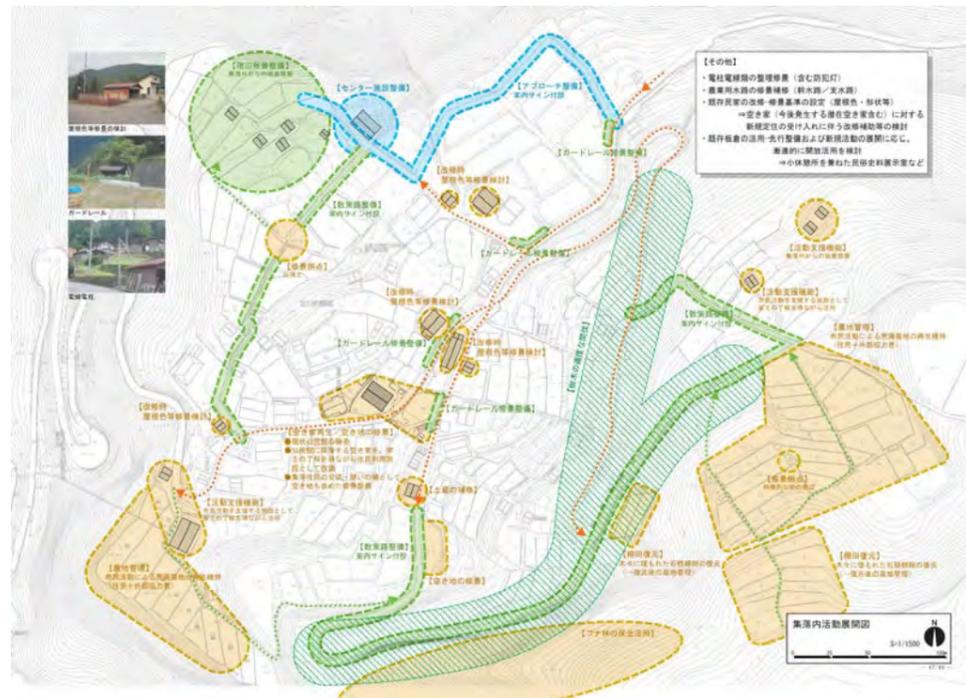
写真③：イベントの風景。種蔵地区において市民参画による各種イベントが常時行われている。



写真④：大型民家棟のファサード。養蚕業の3階建て空家住宅が移築され、宿泊施設として生まれ変わった。



写真⑤：大型民家棟のファサード。美しく融合した練り石積みと稜線と建築物。



図面① 地区整備概要図



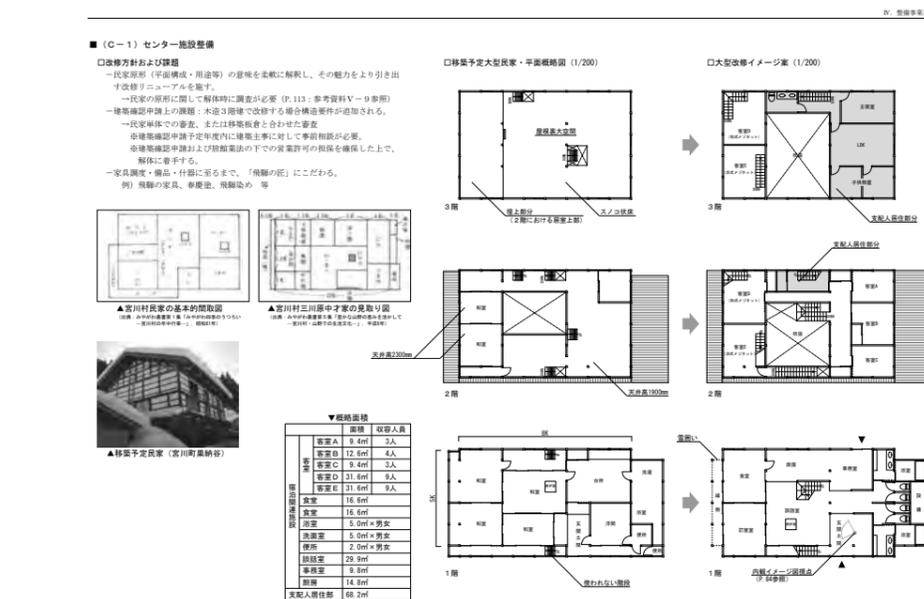
写真⑥：大広間。農村民家の大空間が生かされた計画と養蚕業のスノコを飾り格子として活用。



写真⑧：洗面所。既存民家の床板が洗面カウンターとして再生された。



写真⑦：客室。3mの豪雪にも耐える太い梁とインテリアに配慮されたがいし引き電気配線。



図面② 大型民家棟改修概念図